

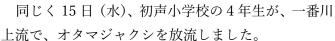
※ 海洋教育ネットワーク通信 NO.5 2019年5月27日

5月15日(水)に、NPO法人小網代野外活動調整会議より、市内の全小学校に、 ハマカンゾウの苗が贈呈されました。

6株ずつの苗が送られ、各学校で育てて、種が取れたら、小網代の森に返しに行 くことになっているそうです。







このオタマジャクシは、油壺マリンパークが、もともと初声小の周りにたくさん 生息していたニホンアカガエルを、代々育ててきたものです。



マリンパークの方のお話のあと、子どもたちが 次々に、放流していきます。今回は、マリンパークか らのものと、児童が教室で育てていたものと、併せ て 2000 匹を放流しました。

来年、昔のように、たくさんのニホンアカガエルが 育ってくれればと思います。





5月22日(水)、旭小学校の海洋教育の様子を取材に行きました。

現4年生が3年生の時に取り組んだ「旭水族館」が完成していました。これは、 海の生き物をモチーフにした紙版画を、クラス全員分掲示したものです。一昨年 度から始めて、2年目の取組になります。

うろこを表すために、緩衝材のプチプチを利用する などの工夫もされていました。

クラス全員で取り組んで、全員の作品で完成した

「旭水族館」。三浦市が進めてきた海洋教育の成果ととらえています。

職員玄関では、スカシカシパンとハコフグがお出迎えしてくれました。(右の写真)



本研究所では、海洋教育写真コンテストを実施するためのクラウドファンディ ング(インターネット上での募金)を行っています。この*コンテストを実施するために、* みなさんのご協力が必要です。3000円から参加できます。



リターン(お礼の品物)もあります。ご協力いただける方は、本研究所(854-9443)にご連絡く だされば、すぐに対応いたします。クラウドファンディングの内容を知りたい方は、右のQRコード、も しくは次のURL (https://readyfor.jp/projects/umishakon31) からアクセスできます。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで